



令和6年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

# 北心だより

令和6年10月4日 N07.



合言葉「自分から」

学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子

先日は、参観会及び懇談会への御参加ありがとうございました。日頃より授業に一生懸命取り組む子供たちですが、いつもに増して張り切っていたように感じました。また、10月2日には、前期の通信票「のびゆく子」を配付しました。お子さんの頑張りをご家庭でも認めていただく機会としていただき、温かい言葉かけをお願いいたします。

さて、いよいよ令和6年度も後半に差し掛かります。さわやかな気候の中行われた林間学校をはじめ、修学旅行、校外学習、持久走記録会、体験活動、生活科・総合的な学習の時間の発表会。後半も、たくさんの学習活動が行われます。浜松市が掲げるキャリア教育とのつながりを意識し、自分なりの目標をもち、学びの充実が図られるよう取り組んでまいりたいと思います。頑張ったこと、成長を感じられたことをお子さんと共有し、励ましと応援をよろしくをお願いいたします。

## 令和6年度全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月18日、6年生を対象に行われた令和6年度全国学力学習状況調査の結果が発表されました。

### (1) 学力調査より

〔令和6年度全国学力調査正答率〕

	国語（全国比）	算数（全国比）
本校	74.0 % (+6.3%)	69.0 % (+5.6%)
静岡県	67.0 %	62.0 %
全国	67.7 %	63.4 %

#### 【国語】

- ・全体の正答率としては、全国・県を上回っていて、全ての問題において正答率 60% 以上である。
- ・「話すこと・聞くこと」について「書くこと」「読むこと」に比べ正答率がやや低く、課題がある。（正答率 66.7%）
- ・問題形式では、記述で答える問題がやや苦手である。（正答率 69.0%）

〔主な正答率〕

○「メモの書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する」

(選択式) 正答率 90.7%

△「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」(選択式) 正答率 63.9%

△「学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるか」

(短答式) 正答率 63.9%

〔分析と改善点〕

国語の力としては、全ての問題において、60%以上の正答率であり、14問中8問では、70%以上の正答率であることから、全体的に定着が図れていると言えます。しかしながら、正答率のやや低い問題としては、「集めた情報や資料を、目的や意図に合わせて選択し、伝える力」や「習得した漢字を適切に使う力」を問う問題が挙げられます。

以上のことから、自分で課題をもち追究するために情報を集めたり、協働学習の中で友達の考えを聞いたりする活動の中で、必要な情報を選択し、思考し、相手に伝えるように表現する力を育てていきたいと考えます。今年度予定している、生活科・総合的な学習の時間の発表会では、まさに、追究した課題について、相手意識を持ち、発表することがねらいとなります。各学年が、それぞれのねらいに沿いながら、段階をもって成長していけるよう、今後も指導を続けていきます。

漢字の学習においては、同じ読みの漢字や熟語がある中で、意味に合わせて使える必要があります。新出漢字を読み書きできるだけでなく、適切な使い方を身に付けられるように指導していききたいと思えます。

【算数】

- ・ 全体の正答率としては、全国・県を上回っている。しかしながら、正答率が 35.2% の問題もあり、得手不得手の差が大きい。
- ・ 問題形式では、記述式で答える問題が苦手である。(正答率 57.2%)

〔主な正答率〕

○「数量の関係を□を用いた式に表す」(選択式) 正答率 97.2%

△「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く」(記述式) 正答率 35.2%

△「直径 22 cm のボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く」

(短答式) 正答率 42.6%

〔分析と改善点〕

算数の力としては、全体的に安定した定着傾向にあると言えます。

正答率が低い問題についても、無答は少なく、途中まで取り組むことができている回答が多くありました。基本の考え方は理解し、問題解決に取り組もうとしていると言えます。しかしながら、その考え方を生かして、問題に適切に答えたり、応用して正しい答えを導きだしたりするところではつまずいていました。「直径 22 cm のボール

がぴったり入る箱の体積を求める式を書く」問題では、「球の直径は、ぴったり収まる立方体の一辺と等しいこと」を見出すなど、習得した知識を関連付けて考察する力が十分ではないと言えます。また、記述の問題では、解答のための条件を満たしていないものが多くありました。

授業の中で、引き続き、基礎基本の定着に加え、習得した知識・技能を活用する問題に取り組んでいきます。また、友達と考えを出し合いながら問題解決に取り組む中で、多様な方法に触れながら理解を深めていけるように指導していきたいと思います。

## (2) 児童質問紙より

	※ 解答番号1（している、当てはまる）の割合	本校(%)	県(%)	全国(%)
1	朝食を毎日食べている。	82.4	84.2	83.4
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	29.6	36.5	39.7
3	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	32.4	36.6	39.4
4	自分にはよいところがある。	43.5	43.8	43.4
5	先生はあなたのよいところを認めてくれる。	69.4	49.9	48.3
6	将来の夢や目標を持っていますか。	70.4	60.6	60.6
7	人が困っているときは、進んで助ける。	38.9	43.7	46.0
8	人の役に立つ人間になりたい。	66.7	70.2	71.1
9	学校に行くのは楽しい。	55.6	48.2	47.2
10	自分と違う意見について考えるのは楽しい。	24.1	30.1	30.3
11	友達関係に満足していますか。	72.2	63.8	62.4
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか。	72.2	78.6	79.5
13	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。	48.1	51.6	50.8
14	学習した内容の分かった点や分からなかった点を次の学習に生かす。	24.1	28.8	31.9
15	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	50.0	45.7	47.3

16	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか。	29.6	34.7	36.8
17	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動を行う。	32.4	33.5	36.5

〔分析と改善点〕

- ・基本的な生活習慣については、朝食を摂って、登校できている児童が多く、御家庭で意識を高めてくれていることが分かります。反面、就寝時刻は不規則な面がみられます。
- ・「教師は、あなたのよいところを認めてくれる」は69.4%が「そう思う」と答えている反面、「自分にはよいところがある」の数値は43.5%でした。自信をもって自分を肯定することの苦手な子が多いのではないかと考えられます。
- ・「夢や希望がある」「人の役に立つ人間になりたい」の数値が高くみられました。目標をもって、前向きに生活を送りたい子が多いと捉えられます。一方で、「人が困っているときは、進んで助ける」という項目の数値が低く、実際に行動することが難しいと考えている様子が伺えます。友達関係についても「満足している」一方で「自分と違う意見について考えること」を楽しく感じられない子が多い傾向にあります。「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。」については、半数に満たないという結果が得られ、不安な気持ちを抱えている子がいることが分かります。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については、「そう思う」が7割でした。いじめについては、「絶対にいけないこと」と、きちんと指導し、温かな学校づくりを進め、学校生活が安心安全になるように図っていきたいと思います。
- ・学習に関わる項目では、「学習した内容を生かす」「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動を行う」などが低かったです。

子供たちは、夢や希望をもち、人の役に立ちたいと考えて生活しています。しかし、実際に、目の前で困ったことが起きたとき、また、難題に出会ったときに対応し行動することができていないことがあるようです。昨年度の回答も同様の表れをしていることから、北浜北小の子供たちの傾向であると考えられます。

日常生活の中で、安心して違う意見の人と話したり自分なりにどうしたらよいのか考えたりする場を作り、いろいろな友達のおよさや個性を認めながら、課題解決につなげられるようにしたいと考えます。そのために、学校生活において生活面、学習面共に、協働的な活動を取り入れ、一人ではなくみんなで取り組み、自分たちで課題を解決し、成功体験を積んでいけるようにしていきたいと考えます。

引き続き、北浜北小の今年度の取組である挨拶、ピアタイム、縦割り活動などで、お互いを認め合い助け合える学校風土を培っていきたいと考えます。